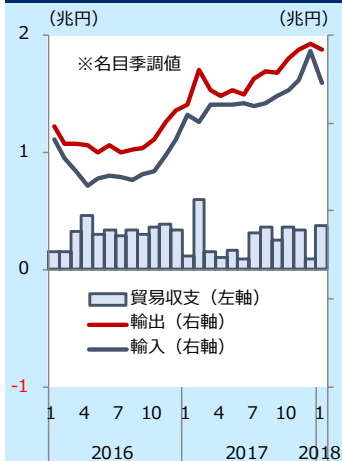


# 日本：貿易統計（2018年1月）

## － 半導体製造装置・自動車が牽引し輸出は好調を維持 －

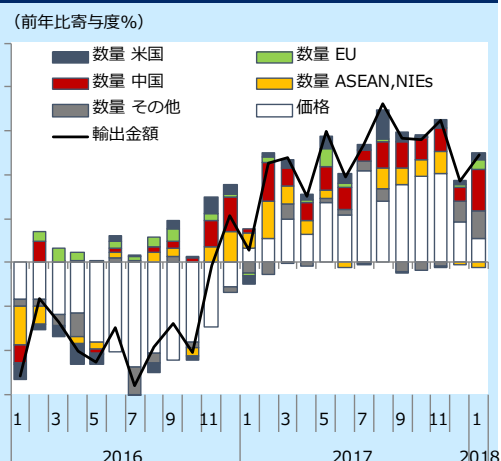
*MRI Daily Economic Points*  
February 19, 2018

### 貿易収支



出所：財務省「貿易統計」より三菱総合研究所作成

### 輸出額の寄与度分解



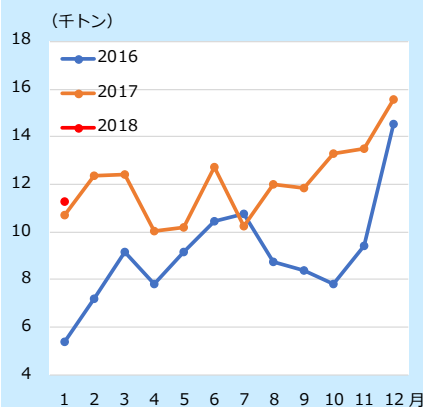
### 評価ポイント

#### 2018年1月の結果

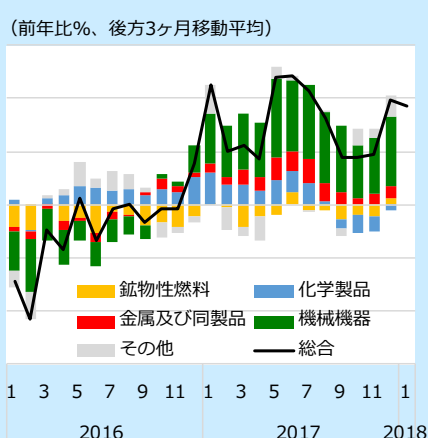
- 18年1月の貿易統計は、輸出金額が前年比+12.2%と14ヶ月連続で増加。輸入金額は同+7.9%と13ヶ月連続で増加。貿易収支の季調値は+3,733億円と27ヶ月連続で黒字を維持した。
- 輸出額を寄与度分解すると、円安による輸出価格上昇の影響は剥落しつつある一方、輸出数量の伸びが大きく、特に中国の寄与度が大きい。ただし、昨年1月下旬にあった春節が今年は2月にずれている影響も大きいと考えられ、対中輸出の基調は2月分も含めて均して見る必要があるだろう。
- アジア向け半導体等製造装置の輸出数量は前年比+5.3%と伸びは鈍化傾向にあるが、中国向けは同+21.7%（前月は同+29.0%）と高い伸びを維持。SEMI（国際半導体製造装置材料協会）が17年12月に発表した市場予測によれば、18年の中国の半導体製造装置市場は前年比+49%と高い伸びが見込まれており、今後も中国向けの輸出は拡大基調を維持すると予想する。
- 自動車の輸出数量は米国向けが前年比▲0.6%と減少したものの、EU向けが同+6.7%、アジア向けが同+14.2%と伸び、全体としては好調を維持した。
- 輸入数量は、アジアからの通信機（スマートフォン等）の輸入が一服したことを背景に、前年比+2.6%と前月（同+5.9%）と比べて伸びは鈍化した。

### アジア向け半導体等製造装置輸出

### 品目別の輸入数量



出所：財務省「貿易統計」より三菱総合研究所作成



#### 基調判断と今後の流れ

- 輸出は、堅調な世界経済を背景に、拡大基調を維持している。
- 先行きの輸出は、引き続き緩やかな拡大を予測する。しかし、世界の金融市場が再び調整局面に入り、それが長期化した場合、逆資産効果等を通じて実体経済にも悪影響が及ぶ可能性に注意する必要がある。また、18年の米中間選挙に向け、トランプ政権が保護主義姿勢を強めるリスクについても引き続き注視すべきだろう。